

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 11 月 1 日

設置・運営主体	三和エンジニアリング株式会社		
設置主体	三和エンジニアリング株式会社		
経営主体	三和エンジニアリング株式会社		
事業所名 (施設名)	下新倉リトルスター保育園	種別	保育所
所在地	〒 351-0111 埼玉県和光市下新倉 4 丁目 1 2 - 5 4		
電 話	048-424-5560		
FAX	048-483-4456		
Email	istar-shimoniikura@sanwa-e.jp		
U R L	http://www.first-littlestar.jp/#TOP		
施設長氏名	角田 由芽美		
調査対応担当者	角田 由芽美 (所属、職名：園長)		
利用定員	19 名	開設年	平成 27 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
「下新倉リトルスター保育園」は、利用者（子どもと保護者）の最善の利益を尊重し、地域における子育て支援の核として愛情と信頼を基盤とした楽しい保育を目指すことを基本理念とします。 ○保育理念○ ・人間形成にとって極めて重要な乳幼児期を、心地よい愛着形成と安心できる環境の中で育てる。 ・子どもの最善の利益を守り、子ども一人一人の心に寄り添い、心身のバランスを考慮した保育を行う。 ○保育方針○ ・安心できる、くつろいだ雰囲気の中で子どもたちの様々な欲求を満たし、満足を与える保育をする。 ・日々の温かい受容的な関りの中で、子どものありのままを受け止め自己を肯定する心を育てる。 ・子どもの成長、発達を促し可能性や力を信じる。 【保育目標】 リトルスター保育園の目指す子ども像 ①心もからだも健やかな子ども ②人を享受し、思いやりのある子ども ③よく遊び、豊かな感性と創造性にあふれる子ども			
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日から金曜日：7時から19時まで 土曜日：7時から18時まで		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	5	5	1		2
1歳児	6	6	1		2
2歳児	8	7	1		2
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計	19	18	3	—	—
（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。					

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		8 人	
うち	保育士	7 人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	1 人	その他（ ） 人
非常勤職員数		1 人	（常勤換算 0.5 人）
うち	保育士	人	（常勤換算 人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	人	（常勤換算 人）
	その他（ 保育補助 ）	1 人	（常勤換算 0.5 人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2 人	非常勤： 1 人
	退職	常勤： 1 人	非常勤： 0 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		29.1 歳	（ 歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		3.5 年	（ 年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	有	—
延長保育	有	0歳児30分150円 1.2歳児30分120円
休日保育	無	
障害児保育	有	—
一時保育	無	
地域子育て支援センター	無	
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）	無	
アレルギー等対応給食	有	—
その他（事業名： ）		

（注）実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 5 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

0 人

・ ボランティアの業務

--

【実習生の受け入れ】

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 0 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	106.81 m ²	
	児童1人あたり	5.62 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	80.8 m ²	
	児童1人あたり	4.25 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
	耐震	☐ 1. はい ☒ 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年 平成 26 年		

○放課後児童クラブの場合

(1) 建物面積 (放課後児童クラブ 使用面積)	m ²	
	児童1人あたり	m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 耐火・耐震構造	耐火	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
	耐震	☐ 1. はい ☐ 2. いいえ
(3) 建築(含大改築)年 平成 年		

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・重要事項説明書に園への要望受付について記載し、入園説明会にて説明を行っています。また、入り口に相談受付担当者の掲示を行い、相談しやすい環境を整えています。
- ・送迎時など日常において、職員と保護者の方とのコミュニケーションを心掛け、保護者の方が抱えている不安や悩みに寄り添うことができるよう努めています。
- ・園にいただいたご意見は職員から園長に報告を行い、速やかな対応を心掛けています。また、全職員で共有し共通認識のもと対応しています。
- ・年3回の保護者との個人面談を実施し、園でのお子様の姿の共有やご家庭での悩み等を伺い、保護者の方に安心してお子様を預けていただけるよう努めています。
- ・園の保育方針については、保護者会や園だより等でお伝えし、保育内容に見通しが持てるようにしています。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

【保育環境】

子どものあそびは、研究・実験そのものとなります。子どもは、生活とあそびの中で身近な物に興味を持ち、その特性や性質を知り感性を豊かにしていくとともに、生活に必要なスキルや人との関わり方を獲得していきます。子どもが遊ぶ環境は五感を使い十分に試行錯誤できるよう整えています。私たちの保育園では、そんな子どもの育ちを保障するために5つのカテゴリーのあそびを設定し保育しています。（せいかつあそび・積み木・絵本・その他のあそび・戸外あそび）

【手作りの抱き人形「赤ちゃん」】

子どもたち一人一人に保育者が手作りした「赤ちゃん」を設定しています。この赤ちゃんは子どもたちが「自分と第三者との間に信頼関係を築く」という行為の土台となっています。子どもたちは日々、自分の欲求や思いを保育者に受け止められ、あたたかい声掛けや関りの中で相手を信頼し情緒が安定していきます。そして徐々に愛着形成ができた保育者が自分にしていることを模倣しようと、自分の「赤ちゃん」に関わる可愛らしい姿がみられています。小さな時期からあそびの中で、人間関係の土台を育んでいきます。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

_____回（平成_____年度）